

情勢報告（平成 29 年 1 月分）

中央東農業振興センター嶺北農業改良普及所

土づくりについて学ぼう－農業基礎講座を開催－



真剣に学ぶ若手農業者

12月15日に「土づくりと施肥の基礎について」と題して農業基礎講座を普及所で開催し、管内の法人組織の研修生や認定新規就農者等18人が出席しました。

普及所は嶺北地域での事例を交えながら土づくりや施肥の基礎知識について説明を行いました。出席者からは「改めて土づくりの重要性が理解できた。来年の栽培に活かしたい」等の意見がありました。併せて、土壌pH、EC測定の実習も行いました。

普及所では、今後も継続して農業基礎講座を開催し、若手農業者などの早期の栽培技術の習得を支援していきます。

嶺北地域農村女性リーダー交流会及び地区会を開催



来年度の活動についての話し合い

1月13日、いの町の農家民宿「みのりの舎」で嶺北地域の農村女性リーダー交流会及び地区会を開催し、10人が参加しました。

交流会では、みのりの舎で、地域食材を活用した料理を楽しんだ後、経営主の筒井氏から民宿の経営や運営方法について学びました。地区会では、今後の活動について協議を行いました。普及所からは、次年度の取組として「6次産業化の推進」「女性農力向上支援事業」等についての情報提供を行いました。

また総会の日程や次年度役員の選定、さらに新たなリーダー推薦に向けて、リーダーが声かけを行っていくことが決まりました。

今後も普及所は、農村女性リーダーの自主的活動を積極的に支援していきます。

来シーズンの花き出荷に向けて
～ J A 花卉部会出荷検討会を開催～



世界に一つの花‘ノーブル’の栽培状況

J A 土佐れいほく花卉部会は、1 月 19 日に J A 本所で出荷検討会を開催し、部会員 4 戸・7 人が参加しました。

会では、次年度の部会活動計画を検討するとともに、各部会員が本年度の反省事項や次年度の改善事項・作付計画を報告し、部会全体の出荷計画を確認しました。

普及所からは、本年度取り組んだユリ八重品種の調査結果や本年度の実証試験で効果が確認された‘ノーブル’の病害防除コントローラー「まもるん」の今後の実証予定などについて報告しました。

農家からは「八重品種の調査結果を参考に作付けする」「次作は「まもるん」の導入を考えたい」等次年度に向けた声がありました。

部会の栽培・出荷は、夏秋期が中心となりますが、普及所では継続して部会活動を支援していく予定です。

今年の栽培を振り返ろうーハウレンソウ部会反省会を開催ー



ハウレンソウ部会反省会の様子

J A 土佐れいほくハウレンソウ部会の反省会が、1 月 20 日、J A 本所で開催され、生産者 7 人が参加しました。

普及所からは、今年発生が見られた萎凋病とハウレンソウケナガコナダニ等病虫害防除対策や最も労力を要する出荷調製作業の省力化の事例について説明しました。更に、参加者から高温時の発芽不良があったという意見があり、その対策を指導しました。

普及所では、次作に向けての栽培管理指導や他産地での取組事例報告等を行い、産地の維持を図っていきます。

栽培時の‘もしも’に対応ー I S O 緊急事態対応訓練ー



緊急時に必要な行動について学ぶ農家

J A 土佐れいほく園芸部は 1 月 20 日に、土佐町の重油タンク設置ハウスで、タンクからの重油流出時の対応訓練を実施し、重油タンク設置農家 7 人が参加しました。

普及所は、J A 担当者と連携し、タンクからの重油流失時の対応の確認や緊急事態につながる事故が発生しないように日常の点検について説明しました。重油流失時の対応の確認では、参加農家からは自分ならどうするかという意見を聞きながら対応を検討しました。

普及所では、今後の J A 土佐れいほく園芸部が実践しているれいほく版 I S O 活動を支援していきます。